

普及活動情勢報告（令和 5 年 9 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

植物生理の基礎について学ぼう！ ～高知大学 IoP 共創センターと連携した勉強会～



勉強会の様子

8 月 30 日、高知大学 IoP 共創センターと連携して「IoP 塾のコンテンツを活用した植物生理の基礎講座」を JA 春野営農経済センターで開催し、キュウリ生産者を中心に 30 名の生産者が参加しました。

普及所は、IoP 塾の映像資料などを活用して植物生理の基礎について講義を行いました。

参加者からは、「キュウリの葉面積(LAI)はどれぐらい確保すればよいのか」、「夏場の遮光はどの時期にどれぐらい行うのがよいのか」等の質問が出され、高知大学、JA 営農指導員、普及指導員が連携して回答し、活発な意見交換が出来ました。

普及所は、今後も関係機関と協力して、生産者の栽培技術向上を目指して支援していきます。

中古ハウスの新規登録に向けて～春野町新規就農者育成協議会総会～



中古ハウス現地確認

8 月 29 日、春野町新規就農者育成協議会総会が JA 春野営農経済センターで開催され、関係機関から 13 名が出席しました。

この協議会は市、JA、普及所で構成し、新規就農者の確保育成及び農業の維持拡大を図るため、新規就農者のための中古ハウス情報の収集・登録、情報のマッチングを主な事業として R5 年 5 月に設立しました。

総会では、運営要領の一部改正や R5 年度の事業報告及び決算報告、R5 年度事業計画及び収支予算等について協議し、全会一致で承認されました。

総会終了後、中古ハウスの書類審査及び現地確認を行い、2 件の登録が決定されました。

普及所は、今後も新規就農者への情報提供や協議会の運営等について支援を行い、関係機関と連携しながら新規就農者の確保に向けて取り組んでいきます。

県版 HACCP 第 2 ステージ取得支援 ～高知県食品衛生協会による書類作成指導～



県版 HACCP 現地指導の様子

8月30日、JA高知市土佐山柚子加工調整施設にて、（一社）高知県食品衛生協会の指導者がJA高知市の職員3名を対象に、新県版 HACCP 第2ステージ取得に向けた現地指導を実施しました。稼働前の施設を回りながら、指導者が一般衛生管理についての手順を説明し、規定に適合しているか確認しました。

普及所からは、今後の書類作成や提出のスケジュールについて助言を行いました。

参加者からは、「衛生害虫のトラップ交換等の説明が受けられて勉強になった」との声が聞かれました。

普及所は、今後も関係機関と連携して県版 HACCP 第2ステージ取得に向けて支援を行っていきます。

農業機械の共同利用から一歩ずつ ～集落営農組織「都積営農組合」設立～



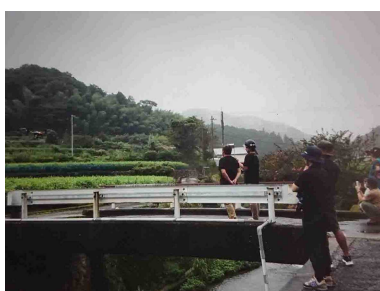
活動の一環であるユズの勉強会

9月1日、高知市土佐山都積公民館において、都積営農組合設立総会が開催されました。本組合は土佐山都積地区の都積集落協定営農受託部会を母体に、農業機械（チップパーシュレッダー2台）の共同利用や農作業の受委託、栽培管理の技術向上などの取り組みを目的に、組合員9名で設立されました。

総会後、普及所からは「高知県ユズ学習コンテンツ」の紹介と題して勉強会を行いました。組合員からは「集落営農組織内で労働力の貸し借りができたら」という声が聞かれました。

今後も、組合ではユズ栽培勉強会の実施等を行いたい意向があり、普及所は組合の発展に向けて、引き続き支援を行っていきます。

ショウガでドローン散布に取り組みませんか？ ～ドローン最新機種実演会～



ドローン散布の実演

9月14日、（株）入交アグリーン主催の、ドローン最新機種実演会が土佐市のショウガほ場で開催され、管内のショウガ生産者4名を含む約40名が参加しました。

普及所はスマート農業への関心を高めるため、関係機関と開催に向け、調整しました。

生産者からは、「散布があっという間だった」、「耐用年数や金額を知りたい」といった意見が聞かれ、ドローン導入への意欲を高めることができました。

普及所は、今後も関係機関と連携し、ドローンをはじめ、省力化に繋がるスマート農業技術の普及に向け、支援していきます。